

写真の
未来が、
始まる。



新マウント×RFレンズ×ミラーレス
EOS R SYSTEM 誕生

レンズ性能を極限まで高める画期的システム

光を操り、極める。それが写真の本質であり、要となるのはレンズ。キヤノンは、54mm大口径と、ショートバックフォーカスを採用した「RFマウント」を開発し、レンズ設計の自由度を高める新システムを実現した。それが「EOS Rシステム」。かつてない高解像力の「RFレンズ」と、その性能を引き出すフルサイズミラーレスカメラ「EOS R」を同時に生み出した。デュアルピクセルCMOS AFが進化し、より高精度かつスピーディーなオートフォーカスが可能に。さらに、カメラとレンズの通信機能を刷新した新マウント通信システムにより、画像処理性能を大幅に高めた。ファインダーを覗きながらでも様々な調整ができるコントロールリングをレンズに搭載し、操作性も向上させた。キヤノンの伝統と革新が結集した新システム。ここから、写真の未来が始まる。



フルサイズミラーレスカメラ EOS R
有効画素数約3030万画素の35mmフルサイズ
CMOSセンサー、映像エンジン「DIGIC 8」を搭載。
[EFレンズ、EF-Sレンズも使用可能(マウントアダプター装着時)]
[EF-Mマウントのレンズ、シネマEOSレンズには非対応です]



RFレンズ
左から「RF28-70mm F2 L USM」
「RF24-105mm F4 L IS USM」
「RF50mm F1.2 L USM」
「RF35mm F1.8 MACRO IS STM」



詳しくはこちら
global.canon/ja/ad/eos-r

Canon

make it possible with canon



東京2020オリンピック・パラリンピック
ゴールドパートナー
(スチルカメラ&デスクトップ・プリンター)